

# 民間奨学金を申請する学生の皆さんへ

学生支援課経済支援グループ  
湯島学生支援室学生支援総括グループ

民間の奨学金は財団や企業等の方の善意の上に成り立っています。そのような奨学金の趣旨をよくご理解のうえ、申請するようにして下さい。

## <申請時の注意事項>

- ◆なぜ奨学金に申請するのか、本当に自分に奨学金が必要なのかを熟考の上、申請してください。
- ◆奨学団体および奨学金には、それぞれの設立の理念や目的があります。何のために、その団体が奨学金事業を行っているのかを考えましょう。
- ◆大学から推薦を要する奨学金は、推薦者数の枠が決められています。推薦者に選ばれたにもかかわらず辞退してしまうと、代わりの推薦者を選出することができなくなり、枠が無駄になってしまいます。申請するときは、辞退することのないようにしてください。
- ◆奨学団体によっては、面接試験があるところがあります。面接では、主に「申請理由」・「現在の学業」・「将来の進路の希望」等について聞かれます。なぜ奨学金が必要なのかも含めて、答えられるよう準備をしておきましょう。
- ◆奨学団体の基準がない場合、家計総収入金額が1千万円以下を、基本的に選考対象とします。

## <採用決定後の注意事項>

- ◆ほとんどの奨学団体では、採用式、交流会、終了式など、団体が主催する行事があり、奨学生はそれらに参加する義務があります。また、年度末などに成績証明書や報告書の提出が義務づけられている場合があります。これらを怠ると、奨学金の打ち切りや、今後の採用にも影響しますので、十分に注意してください。
- ◆東京科学大学を代表して採用されていることを忘れずに、奨学生としての自覚を持った行動を心がけてください。